

# 忍 城 址



忍城は室町時代にあたる15世紀後半に成田氏により築城された城郭です。戦国時代の終わりに豊臣秀吉の関東平定に際し石田三成らによる水攻めをうける中、小田原城の降伏後に開城しました。

その後、松平家忠による城郭の修復が済んだのち、徳川家康の四男松平忠吉が城主となります。三代将軍家光の治世には、松平信綱、阿部忠秋が城主となり、以後185年間は阿部家の居城となります。

文政6年(1823)には伊勢国桑名から国替えとなった(奥平)松平家が城主となり、明治維新、廃藩を迎えます。明治6年(1873)に忍城は解体されましたが、現在博物館の周辺にある本丸土塁の一部や櫓の石垣に使われた間知石から当時を偲ぶことができます。

## 忍城御三階櫓



かつて御三階櫓は、現在の水城公園の付近に建っていましたが、忍城の解体にとともに破却されました。

現在、忍城址に再建された御三階櫓には、郷土博物館の渡り廊下から入ることができ、内部は「忍城と城下町」「近代・現代の行田」を紹介する展示室となっています。

- 開館時間 午前9時～午後4時30分  
(午後4時以降は入館できません)
- 入館料 大人 200円 (団体160円 ※20名以上)  
大学・高校生 100円 (団体 80円)  
中学・小学生 50円 (団体 40円)
- 休館日 月曜日(祝日・休日は開館)、祝・祭日の翌日(土日は開館)、  
毎月第4金曜日(テーマ展・企画展開催中は開館)、年末年始

## ご案内図



### ● 電車で ●

- JR高崎線吹上駅から
  - ・行田市駅・行田折返し場・総合教育センター行きバス(前合経由)
    - 「忍城」下車すぐ
  - ・行田折返し場・総合教育センター・工業団地行きバス(佐間経由)
    - 「新町1丁目」下車 西へ徒歩10分
- 秩父鉄道行田市駅から徒歩15分
- JR高崎線行田駅から
  - ・市内循環バス西循環コース(右回り)
    - 「忍城址・郷土博物館前」下車すぐ
  - ・市内循環バス西循環コース(左回り)
    - 「行田市バスターミナル」下車 徒歩5分
  - ・市内循環バス観光拠点循環コース(右回り)
    - 「行田市バスターミナル」下車 徒歩5分

### ● お車で ●

- ・国道17号バイパス持田インターから県道128号を東(行田市街地方面)に3分
- ・東北自動車道加須インターから県道128号を西(行田市方面)に30分
- ・駐車場 P1…バス4台、普通車33台  
P2…普通車23台、障がい者用普通車1台

## 行田市郷土博物館

〒361-0052 埼玉県行田市本丸17-23 TEL.048-554-5911 FAX.048-553-4951

行田市郷土博物館 検索

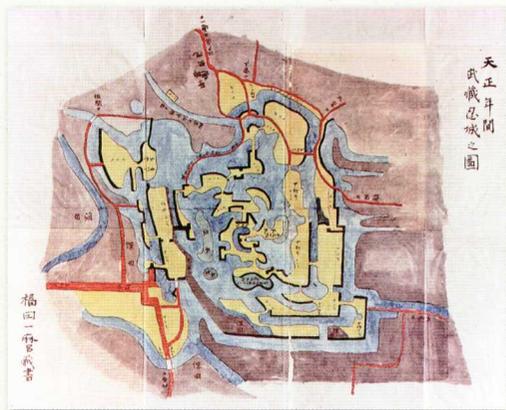
Gyoda City Museum

# 行田市郷土博物館



Oshi Castle

## 忍城御三階櫓



天正年間武蔵忍城之図(当館保管)



忍城跡出土の硯(左)と漆椀(右)

## 申世の行田

### 北武蔵の武将成田氏の居城

15世紀後半、忍城は忍川の流れ込む沼地に築城されました。展示室では伝来する城絵図や忍城跡の発掘調査によって発見された資料の数々から往時を偲ぶことができます。天正18年(1590)の忍城水攻めの経過についても戦国武将の書状や石田堤の想定図などから知ることができます。

## 足袋と行田

### 近代の行田を支えた足袋産業

行田の足袋産業は江戸時代が最初期とされ、明治・大正時代に機械化が進み、そして昭和時代には生産の最盛期を迎えました。「足袋と行田」は、近世から今日まで続く行田の足袋産業について学べる展示室です。足袋製造用のミンヤ、足袋の商標を印刷したラベルのコレクションなど、重要有形民俗文化財を含む多



足袋製造工程の風景(再現)

数の資料を展示しています。足袋屋の店先を模した、瓦屋根の展示室入口も見どころの一つです。



足袋の販売時に同封されたラベル(商標ペーパー)

## 近世の行田

### 徳川家ゆかりの城郭と城主

徳川家康が江戸に入ると、忍城には徳川家にゆかりの大名が代々城主として入りました。ここでは絵図類をもとに再現した城郭と二ノ丸御殿の模型や歴代城主にまつわる武家の資料を多く展示しています。

特に甲冑や刀剣、書画などは随時展示替えを行うため、ご来館ごとに様々な実物資料をお楽しみいただけます。



徳川家康画像(忍東照宮所蔵)



貝合わせ



## 古代の行田

### 行田で花開いた古墳文化

行田市は、豊かな河川にめぐまれ、自然堤防や台地の縁辺による微高地には古代から人々の暮らしが営まれました。展示室では縄文時代から平安時代まで様々な時代の集落から出土した土器や木製品、埴輪などが展示されています。

展示室の中央には、重要文化財 酒巻14号墳出土の埴輪たち。市内に

は埼玉古墳群をはじめとする多くの古墳群が存在し、利根川沿いの酒巻古墳群もその一つです。旗を立てた馬形埴輪や渡来文化の影響を大きく受けた人物埴輪など特徴的な埴輪が並び、古墳時代の行田の繁栄を伝えてくれます。



上:酒巻8号墳出土の須恵器  
下:酒巻14号墳出土の形象埴輪